



平成 29 年 6 月 8 日

各 位

会社名 株式会社ロジネットジャパン
代表者名 代表取締役社長 木村 輝美
(コード番号 9027 札証)
問合せ先 取締役 経営企画管理本部副本部長 橋本 潤美
(TEL 011-251-7755)

長距離幹線輸送に関する取組みについて

当社は、関東～関西間において長距離幹線輸送に関する新たな取組みを開始致しましたので、下記によりお知らせ致します。

記

1. JR 貨物（日本貨物鉄道）との共同事業

(1) 主旨

ドライバー不足問題の顕在化と通販物流の急激な増大等により輸送力の逼迫が社会問題化している中、当社は共同して関東～関西間を中心とする本州内長距離幹線輸送における新たな取組みを開始することと致しました。

これは、貨物列車の空きスペース活用を中心とした鉄道貨物輸送の新たな販売方法や、トレーラーのスイッチ運行などの輸送サービスをパッケージ化するもので、これを荷主企業に利用していただくことで、幹線輸送におけるドライバー不足対策に寄与しつつ、物流効率化を実現することを目的としております。

また、この共同事業による輸送方法が、今後の長距離幹線輸送における輸送力の安定供給という課題に対応するうえで、新しいスタンダードとなることを目指して事業を推進してまいります。

(2) 概要

当社は、鉄道貨物輸送、トレーラー輸送及び大型トラック輸送をセットにした輸送提案を、「**LNJ長距離幹線輸送セレクションR&R**」として商品化し、販売・営業を行ってまいります。

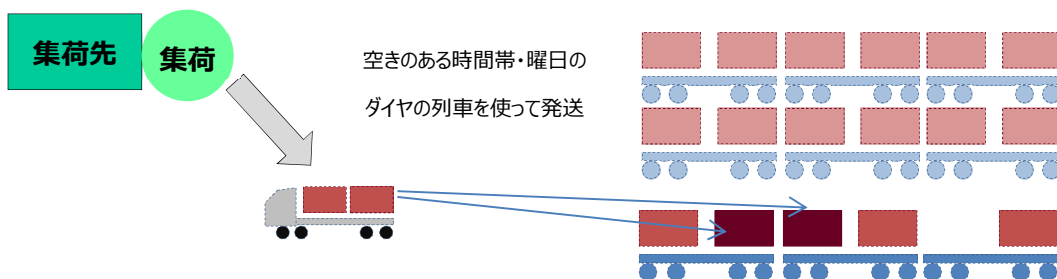
輸送サービスのうち「鉄道貨物輸送」については、今後とも安定した輸送力の供給が見込まれ、かつ環境にも優しい輸送モードとして、改めてその重要性が認識されておりますが、この度JR貨物とのタイアップにより、有用性の高いJRコンテナ輸送サービスをラインナップすることができました。

当社並びにJR貨物は、この有用性を広くPRし、鉄道貨物輸送の振興に努めてまいります。
なお、当事業における具体的取り組みの主なものは以下の通りです。

① 貨物列車の空きスペースの活用

- ・ リードタイムに余裕のある「急ぎではない」輸送需要に対して、**土・日・祝日の貨物列車の空きスペース及び平日の特定時間帯の貨物列車の空きスペースを活用して JR コンテナを発送**することを荷主企業に提案し、“**急がなくてもいい荷物**”の輸送需要掘り起しを行うことで JR コンテナを使用した鉄道貨物輸送の利用促進を行います。（下図参照）
- ・ 関東～関西間での輸送需給不均衡分の吸収バッファとして貨物列車の空きスペースを利用します。

（図：空きのあるダイヤを使っての JR コンテナ発送イメージ）



② 既往の鉄道貨物営業活動の強化

- ・ 鉄道貨物輸送が、今後懸念される長距離幹線輸送でのドライバー不足の状況においても安定的に供給される輸送モードであることを強くアピールして、荷主企業に有用性への認識を高めていただき、鉄道貨物輸送の利用促進に努めます。
- ・ 荷主企業に対して、関東～関西間での在庫供給、在庫移動に JR コンテナを活用することによりトータル物流コストを低減する提案を行い、JR コンテナ輸送の需要掘り起こしを行います。

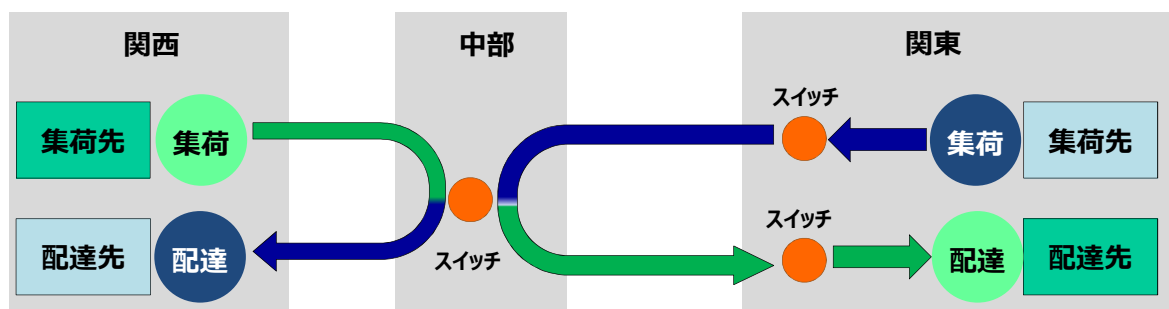
2. 共同事業と並行し実施する事項

トレーラーのスイッチ運行

- ・ トレーラー運行は、関東～関西間の双方からの運行において、関東側の集荷・配達業務を、関東⇔中部間を往復するトラクタヘッド（以下「ヘッド」）と別なヘッドで行うことで、運行経路を3分割致します。（下図参照）

- ・ これにより、ヘッドのドライバー1 名あたりの運行時間がさらに短縮され、また集配と運行を分離し、別のヘッドで輸送することで、集荷時間や配達時間帯に幅を持つことができるため、荷主企業にとっても活用しやすい、実用性の高いサービスになるものと考えております。
- ・ なお、中部でのスイッチ拠点として、本年 8 月に運用開始予定の当社の新センター（愛知県小牧市）を活用し、スイッチ運行の拡大に対応致します。

(図：トレーラーのヘッドスイッチ運行イメージ)



3. 今後の見通し

本件が当社の当期業績に与える影響は現段階で未定であります。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合は、速やかに開示いたします。

以上